

【 地域食材新商品開発ステップアップセミナー 実施概要 】（雇用者向け）

目 的	主要な地域資源のたまねぎ、小麦などの農産物、ホタテ、鱒などの水産物のほか、豆類、ハーブや新たに地域導入可能な新規作物、近年の気候変動などによりこれまで獲れなかったブリなど、新たな未利用資源の活用法を研究機関が有する技術、専門家が有するユニークなアイデアを活用し、新商品開発やプロデュース方法などの関するセミナーや、商品への付加価値化を実践するセミナーを開催する。	
対 象 者	事業主・開発担当者等	
内 容	7月 8日	「地域資源を活用した商品開発セミナー&ワークショップ」 ・遠藤講師より、中部地方でのターゲットを絞り込んだ活用事例の紹介や、ワークショップで北見市の地域資源を活用した新商品を検討しました。
	7月24日	「地域素材を活かした商品化のヒント」 ・抜山講師より地域食材を使った商品の紹介と地域ブランドの必要性などを講義していただきました。
	7月26日	「付加価値向上のためのデザイン活用」 ・近藤講師より、新商品を売り出す際には、ライバルを定義し、差別化するほかSWOT分析して、地域ブランド力等を向上させる必要性などを学びました。
	1月23日	「新商品のプロデュース法～共感力を生む商品とは？」 ・萬谷講師より、商品訴求力と消費者の感性がマッチすることが大事で、物語性が分かりやすく感性に訴えてくるものが良いことなどを学びました。
	1月24日	「先進事例や専門家による商品開発のアイデア」 ・黒瀧講師より、先進事例などから商品開発はターゲット層を決め、モニタリングなどで対象者や売るもの差別化するのも有効であることなどを学びました。
	2月 3日	「研究機関が保有する技術紹介」 ・阿部講師より、今年の4月から表示法が変わることから、今後ますます地元で製造することが差別化に繋がることや最新の加熱水蒸気技術の紹介をしていただきました。
期待効果	地域資源を活用する商品開発した高付加価値化に必要な情報提供を行うことにより、新規事業や新たな商品を生み出すことで雇用の促進を進める。	
開 催 日	7月18日～2月3日の間の6日間（全6回）	
会 場	第1～3・5回目	オホーツク木のプラザ（北見市泉町1丁目3-18）
	第4回・第6回目	ナップスビル3階ナップスホール（北見市北2条西3丁目）
参 加 者	28事業所（参加人数34人） アウトプット 25事業所	